

運輸車輛部会 視察研修会 報告書

- 開催日 平成 29 年 9 月 20 日（水）
- 視察先 (株)イズミ 広島物流センター、豊栄ごはんくらす LECT 広島店、広島港湾振興事務所、広島港国際コンテナターミナル（出島地区）
- 目的 最新物流センターの概要や、地域振興の先進事例、広島県の港湾事業について学び、運輸業界や三原市の発展に寄与する
- 参加者 9 名（事務局 1 名を除く）
- 主催 三原商工会議所 運輸車輛部会

本所運輸車輛部会（田中綜一部会長）では、9 月 20 日（水）、業者間（部会員間）親睦並びに先進地視察のため、視察研修会を実施しました。

当部会では、運輸業界の発展に寄与し、道路交通事情について調査研究することを目的としており、(株)イズミ 広島物流センター、豊栄ごはんくらす LECT 広島店（(株)サタケ運営）、広島港湾振興事務所・広島港国際コンテナターミナル（出島地区）を訪問しました。

（株）イズミ 広島物流センター

はじめに、米谷課長からご挨拶をいただいた後、座学でセンターの概要についてご説明をいただきました。次に、管理業務を委託されているヤマエ久野(株) 濱田チルドセンター長より、センターをご案内いただき、ご説明いただきました。

2015 年 1 月に、4 つの物流センターを集約し竣工された広島物流センターは、

ドライとチルドどちらの商品も扱われており、配送車両の統合化、音声ピッキング（36 カ国語対応）による仕分け作業の効率化等、様々な業務改善を行われていました。音声仕分けを採用することにより、レイアウトの変更が従来のセンターよりも行い易く、作業バランスを考える専門部署を配置し、お客様と店舗、そしてメーカーをより効率よく結ぶため、日々進化を続けていることが分かりました。

<参加者からの感想>

「集約と自動化には、目を見張るものがあった。」「音声ピッキングは、36ヶ国語対応とお聞きし、驚いたと同時に、人手不足も実感できた。」「毎日 600～700 台のトラックの出入管理をミスなく行っていること、様々な効率化を図り、センターの管理業務を委託されている事には驚きました。」とのお声をいただきました。





豊栄ごはんくらす LECT 広島店 (株)サタケ運営



中産間地域である東広島市豊栄町で(株)サタケを中心に活動している豊栄プロジェクトについて、(株)サタケ 新規事業推進室の佐々木室長にお話をお伺いし、人気の「おひつ定食」をいただきました。

豊栄プロジェクトは、「豊栄に関わるすべての人を幸せにする。」という明確なコンセプトをもって、かつては経済的にも活気のあった豊栄に再び「持続可能

性」の部分を生み出し、自然環境を守り、経済的な活力を与え、健全な地域社会を持続させることにより、地域とそこに携わる人を豊かにすることを目的としておられます。

第一段階は、自社内で「GABA米」の事業を立ち上げ、お米に付加価値をつけて販売することに成功。第二段階として、大学地域、他社を含め協議会を設立し、「豊栄くらす」が誕生。「豊栄くらす」は、豊栄の食材を使った「レストラン豊栄くらす」、豊栄の魅力を知っていただく「イベントくらす」、ロードバイク等の乗り方、選び方も教えていただける「自転車くらす」、空き家の斡旋、リノベーションを手がける「空き家くらす」、都市部と豊栄を結ぶ架け橋となる、「豊栄ごはんくらす LECT 広島店」で構成されています。「豊栄ごはんくらす LECT 広島店」では、いずれ都市部の方の移住相談にも応じたいとのこと。豊栄での取り組みをお聞きし、三原のために何ができるか改めて考える時間となりました。

<参加者からの感想>

「企業として、100年先、地域経済の活性化を考えながら、新たに若者が仕事にやりがいを持つ会社づくりは、企業におけるまちづくりの見本だと思う。」「資金」と「担い手」がハッキリしており、継続が可能なまちづくりの手法だと感じた。」とのお声をいただきました。



広島港湾振興事務所



渡辺所長より、広島港の成立ちや取扱貨物、整備状況、そしてクルーズ客船誘致に向けた取り組みや、再開発についてご説明いただきました。

広島港周辺の主な立地企業は、(株)ウッドワン本社工場(木材)、広島ガス(株)廿日市工場(LNG)、カルビー(株)広島工場(食品)、コベルコ建機(株)広島事業所(建設機械)、三菱重工(株)広島製作所(機械)、マツダ(株)本社工場(自動車)があります。平成28年度の広島港の取扱い貨物1,447

万トンの内、輸出が30%。輸出の90%がマツダ関連ということで、マツダの業績が広島経済に与える影響の大きさを再認識しました。

本所からは、港湾設備の整備について、物流の円滑化、交通ネットワーク化の推進を図るための尾道糸崎港貝野地区の整備や、尾道糸崎港松浜地区第2工区の早期着手について広島県に要望活動を行っていることをお伝えしました。

<参加者からの感想>

「コンテナの取扱い個数が過去4年増加傾向にあることが分かり、モーダルシフトによる海上輸送拡大が伺える。」「マツダの取扱貨物の多さに感心した。」とのお声をいただきました。

広島港国際コンテナターミナル(出島地区)

広島港国際コンテナターミナル(出島地区)を見渡せる展望台に登り、(株)ひろしま港湾管理センター 新宅港湾物流担当課長より、ターミナルの概要をご説明いただきました。

広島港国際コンテナターミナル(出島地区)は、コンテナの取扱いが日本11位で、-14m岸壁で大型コンテナ船対応しており、コンテナ内への貨物を荷さばき、コンテナへの詰め込みや、取り出しを行うコンテナフレートステーション(C.F.S)もあります。自動車部品をはじめ、日用品など様々な品目を扱っていることが分かりました。

<参加者からの感想>

「大型コンテナ船にも対応していることに驚いた。また、保税倉庫があることも今回の見学で知りました。」とのお声をいただきました。

